

伊勢・三河湾貧酸素情報(H29-3号)

平成29年6月28日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成29年6月22、23日に伊勢湾、6月26日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

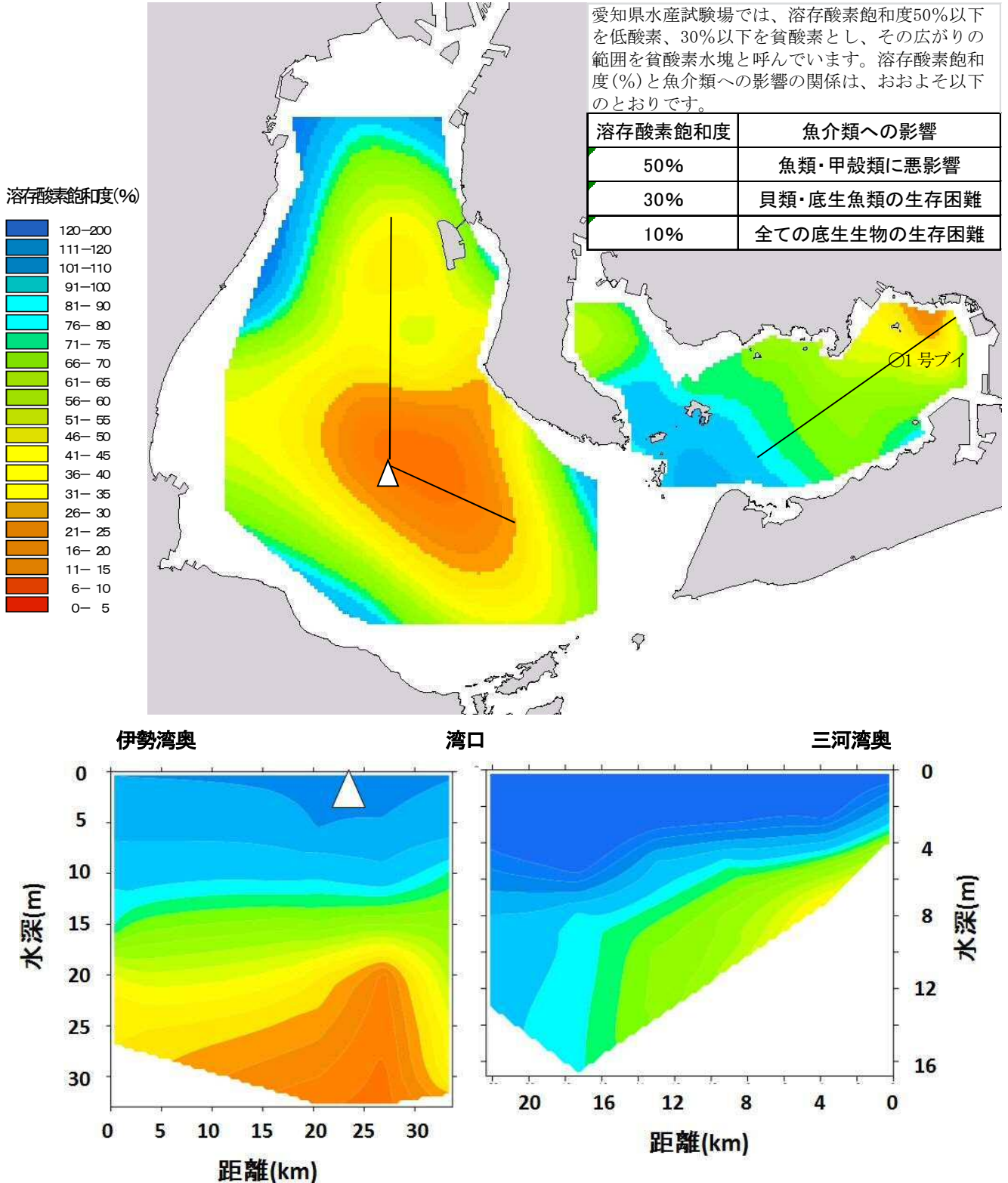


図1 伊勢湾(6月22、23日)・三河湾(6月26日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「海幸丸」、「へいわ」調査)

伊勢湾

6月22、23日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾では湾中央部で溶存酸素飽和度30%以下の貧酸素水塊が確認されました。

今後は、降雨の影響による表層の塩分低下と水温上昇に伴う成層の発達により、貧酸素水塊が拡大すると思われます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	20.1~22.6	28.7~32.3
底層	14.7~19.1	32.8~33.9

三河湾

6月26日の調査結果を図1に示しました。渥美湾奥部の貧酸素水塊は前回より縮小していました。

自動観測ブイ1号(蒲郡沖)のデータを見ると、6月21日に最大16.6m/sの東南東から南の風が吹いたことにより海水が上下混合し、底層の溶存酸素濃度は上昇しました(図2)。

今後は、降雨の影響による表層の塩分低下と水温上昇に伴う成層の発達により、貧酸素水塊が拡大すると思われます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	21.9~25.0	26.9~31.7
底層	19.5~20.9	31.7~33.1

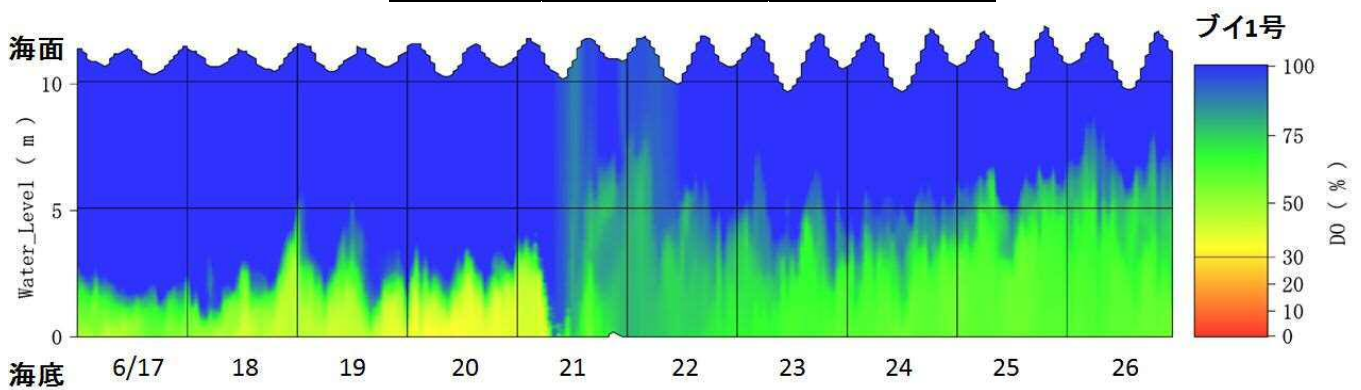


図2 溶存酸素飽和度(DO)の経時変化(自動観測ブイ1号)

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

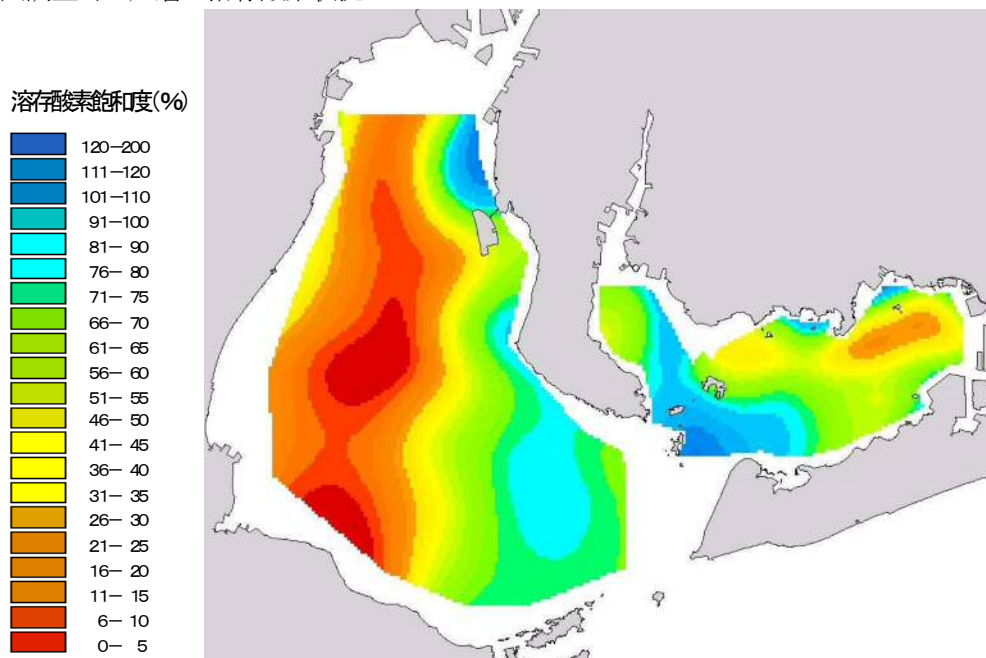


図3 平成29年6月5日(伊勢湾)、6月19日(三河湾)